

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう奈良津2組		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習室・憩いルーム・運動室など活動内容に応じた空間設定を行い、子どもが見通しを持って過ごせる構造化環境が整っています。クールダウンスペースも確保されており、個々の状態に応じた環境調整ができています。清掃・消毒も徹底され、安心できる環境づくりができています。	朝礼で前日の振り返りや当日の支援確認を行い、PDCAサイクルを意識した業務改善を継続しています。職員の意見も共有し、支援の見直しにつなげています。	支援プログラムの公表方法や情報発信を工夫し、より分かりやすい説明を行っていきます。
2	アセスメント・モニタリングを丁寧に行い、子どもと保護者のニーズを客観的に分析した個別支援計画を作成しています。カンファレンスを通じて全職員が共通理解を持ち、計画に基づいた支援が安定して提供されています。	活動プログラムは職員間で意見を出し合い、子どもの意見も取り入れながら固定化しない工夫を行っています。自己選択・自己決定支援も実践されています。	家族支援プログラムやペアレントトレーニングの実施を検討し、家族支援を充実させます。
3	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「楽しみにしている」「細やかな支援に感謝している」といった声が多く見られます。連絡帳やアプリを通じた情報共有も丁寧で、信頼関係が築かれています。	安全管理体制が整っており、各種マニュアル整備、BCP策定、避難訓練、ヒヤリハット共有、虐待防止研修などを継続しています。	地域交流や他児との交流機会を段階的に増やしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価や外部スーパーバイズの機会が少ない状況です。	日々の支援や送迎対応により、振り返り時間の確保が難しい場合があります。	振り返りの定例化や記録活用を進め、支援の質向上につなげます。
2	支援終了後の振り返り時間が十分に確保できない日があり、記録活用や定例化が課題です。	日々の支援や送迎対応により、振り返り時間の確保が難しい場合があります。	家族支援プログラムや交流機会を企画し、参加しやすい形を検討します。
3	家族支援やきょうだい交流の機会について、保護者から「もっとあってもよい」との声があります。	地域交流はニーズの差や調整面の課題があります。	外部研修や地域連携を進め、支援の幅を広げます。